

令和3年度第3回協和地域協議会会議録

令和3年12月17日

協和地域協議会

令和3年度第3回協和地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■報告	
(1) 地域拠点利活用活性化事業について	3
(2) 地域枠予算申請状況について	4
(3) 協和地域の行事等について	5
■その他	6
■閉会	8

令和3年度 第3回協和地域協議会 会議録

■日 時：令和3年12月17日（金） 午後3時

■会 場：協和庁舎4階大会議室

■出席委員：11名

伊藤 慎一、武藤 秀一、武田 春樹、武藤 利雄、
奥田 聖名子、伊藤 泰子、斉藤 陽子、茂木 靖雄、
加藤 弘栄、茂木 美竹、佐藤 幸雄

■欠席委員：3名

千葉 勝俊、加藤 久則、今野 珠希

■出席職員：10名

堀江 孝明（協和支所長）、今 辻子（市民サービス課長）、佐川 悦章（農林建設課長）、
阿部 成吾（協和公民館長）、高橋 靖弘（西仙北・協和建設水道事務所主幹）、
太田 敬（市民サービス課参事）、佐藤 恵（同左）、小林 正（協和公民館副主幹）
加藤 登志美（地域活性化推進室主幹）、佐々木 達也（地域活性化推進室副主幹）

■次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 報 告
 - (1) 地域拠点利活用活性化事業について
 - (2) 地域枠予算申請状況について
 - (3) 協和地域の行事等について
- 5 その他
- 6 閉 会

(午後3時00分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

本日は年末も間近の大変お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。

ただいまから第3回地域協議会を開会いたします。

主催者を代表しまして武藤会長がご挨拶申し上げます。

○武藤利雄会長（以下「会長」と表記）

本日もお忙しい中、協議会にご出席いただきありがとうございます。

今年も残すところ2週間となりました。今年は大きな災害はありませんでしたが、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により地域活動の中止や自粛により地域住民の交流の場が失われました。その後感染者数が減少し8月には1日あたり2万5千人だったのが9月には200人にまで減少し次第に活動が再開されるようになりました。しかし、先月からオミクロン株という新たな変異ウィルスの流行に不安を抱えているところでありますが、欧米諸国のような状況とならないよう基本的な感染予防対策を心掛け活動していきたいと思うところであります。

本日の資料にもありますとおり今年も各団体の活動も中止が多く、委員の皆様も苦慮された一年だったと思います。そのような中ご尽力くださったことに感謝申し上げ来年も引き続きご協力いただきますようお願いし挨拶いたします。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

ありがとうございました。

本日は委員定数14名中11名と2分の1以上の方が出席されておりますので、大仙市地域自治区設置等に関する条例第8条第3項の規定により会議は成立していることご報告いたします。

この後は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条4項の規定により、武藤会長が議事進行を務めます。

○会長

次第に入る前に「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

会議録署名委員には、伊藤慎一委員と加藤弘栄委員をお願いします。

それでは、次第に従い進めてまいります。

報告(1)地域拠点利活用活性化事業について、支所長より説明願います。

○堀江支所長

【(1)地域拠点利活用活性化事業について】説明 協議資料 1

○会長

ありがとうございました。

ただ今の件について、何かご質問・ご意見等ありませんか。

○茂木美竹 委員

説明ありがとうございました。

事前に資料が送られてきてこの計画を拝見したときは、20年前に『和ピア』が完成した時、協和に新たな賑わいの場が生まれるのではといったワクワク感を感じた時を思い出し、この計画が実現できればまた新たな利用価値が生まれるのではないかとといった期待感を持てる計画だと感じました。

ソフト事業のうち、子ども食堂について、私も実行できれば良いと思います。このコロナ禍で子どもの貧困率が上昇していますし県内でもプロバスケットチームが運営するなど県内でも需要が高まっていると思います。

併せて、協和地域でも素晴らしい農産物、特産品がありますので、食育という観点から、地域の子供たちに味覚や食文化を育む事業展開と役割を担う施設になっていただければと思います。

次に唐松神社や能楽殿といった周辺施設も活用した事業としてスタンプラリーなどの計画もありましたが、近頃は自転車の愛好家も増えてきています。

例えば SNS を利用し写真映えのするスポットの紹介ですとか、二次元コードを設置しそこでしか手に入らないフレームを作成するなど、『車では行けない 穴場スポット』的なイベントなども良いのではと思いました。

そうすると予算や管理などいろいろな課題もありますが自転車の貸し出しなども必要ではないかなと考えました。以上です。

○会長

ありがとうございました。他にご意見等ありませんか。

○武田春樹 委員

この事業計画については私たち委員も協議したことを基に作成してもらったもので良い計画だと思います。他地域の事業計画についても機会があり拝見しました。先ほどの支所長の説明では3年の事業計画期間だが、良い事業とするなら10年ほどかかっても良いような話を受けたとおっしゃいましたが、『和ピア』も完成から20年経過し建築基準法に対応するには難しくなって来てしまいますので市長はもちろん財政課にも納得していただけるような基本構想を早期に作っていただき1年でも早く着手できるようお願いしたいです。

○会長

ありがとうございました。他にありませんか。

○佐藤幸雄 委員

今回の事業計画は良いと思いますが、やはりプロジェクトチームを立ち上げるなどして様々な意見を集める必要があると思います。特に中学生、高校生など若い感性を聞くことは大事ではないかと思います。

○堀江支所長

新年度予算においてワークショップを実施するための経費を要求しております。そこで中学生からも参画してもらい広い意見をいただきながら良い基本構想を目指したいと考えております。

○会長

ありがとうございました。他に質問等ありませんか。

なければ(1)地域拠点利活用活性化事業について報告を終わります。

次に(2)地域枠予算申請状況について説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹 佐々木副主幹

【(2)地域枠予算申請状況について】説明 協議資料2

○会長

ありがとうございました。

ただ今の件について、何か質問等ありませんか。

○加藤弘栄 委員

先ほどの地域枠予算申請状況でも報告ありました協和小学校・保育園の卒業記念品作成事業ですが、毎年協和道の駅にある『遺跡陶芸の里』（曲屋）を使用しているのですが、先日そちらを借りている陶芸の先生が、『防災道の駅』の拠点施設として使用するため本年度いっぱい退去しなければならないと話していました。この事業は例年卒業・卒園する親子に参加してもらい好評なのですが、今後この事業はどのように継続していけば良いのか。加えて道の駅が防災拠点としてどれくらい整備など進んでいるのか教えてください。

○堀江支所長

現在は道の駅協和と合わせて協和振興開発公社より指定管理していただいております。本年度で契約が満了となります。来年度に向け開発公社と協議した際、この施設は維持・管理が難しいとのことでしたので、本庁担当部局と検討した

結果、『遺跡陶芸の里』を対象施設から外すこととなりました。代わりに隣接する米ヶ森公園、グラウンド・ゴルフ場を新たに含めて指定管理を行ってもらうこととしております。委託期間が2年と短いですが、理由は『四季の湯』の指定管理の更新時期と合わせるためであります。

『遺跡陶芸の里』ですが、平成16年に荒川焼を作ろうということで穴窯も造り、陶芸家を開発公社の社員として雇い荒川焼の販売も行っていました。敬老会の記念品として採用されたこともあります。しかし、数年前穴窯の温度が上がらないとのことで調査したところ穴窯の下に地下水が流れていることが分り、排出用ポンプを購入するなどしましたが効果が無く、そうしている内に陶芸家の方が辞めてしまい、その後現在講師してくれる方に施設を貸している状況です。

市の管理となりますと、個人の方に貸す場合行政財産のため様々な制約があることや、使用料についても年間で高額になってしまいます。

現在の借主の方は地元の土ではなく益子焼の土を使っていることなどから、副市長とも協議を重ね、遺跡陶芸の里は今後本来の目的の達成はできないため廃止とする判断に至りました。

今後はご存じのとおり『防災道の駅』に指定されましたので、3年ほどの期間をかけ国の予算で整備されることとなりますが物資の備蓄場所が無いことから陶芸を作成する場所を備蓄倉庫として改修する計画となりました。制作する場所としては利用できませんが、空いたスペースについてはこれまである道具類の保管場所として利用は可能かと思えます。その旨借主の方には説明させていただいた次第でありますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

○会長

加藤委員よろしいでしょうか。

○加藤弘栄 委員

分かりました。

○会長

他に質問等ありますか。

次に(3)協和地域の行事等について、支所長お願いいたします。

○堀江支所長【(3)協和地域の行事等について】説明 報告資料3

○会長

ありがとうございました。

何かご質問等ありませんか。

次に5 その他ですが、市の取組等についての質問などでも結構ですので皆さんから何かご意見等ありませんか。

○委員からの意見なし

○会長

無いようですので、各課長からご連絡等ありましたらお願いいたします。

○市民サービス課 今課長

市民サービス課より2点ご連絡いたします。

『のりのりきっぷ』事業について、毎日数件ずつ申請をいただいておりますが、いよいよ雪の季節となり凍結による転倒など増えてきます。委員の皆様で雪道に不安な方、未申請の方などいらっしゃいましたらお声掛けしてくださいませようお願いいたします。

次に、令和4年1月5日大仙市消防出初め式が開催されます。今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典のみの開催となります。永年勤続者表彰の他、今春下荒川地区で発生しましたゴミ収集車火災で初期消火に尽力くださいました方への感謝状贈呈式も開催されます。なお、消防団員数について12月現在187名が加入しております。本年1月より協和地域では3名新規加入していただきました。以上です。

○西仙北・協和建設水道事務所 高橋主幹

所長の加藤が所用のため代わってご連絡いたします。

いよいよ雪のシーズンとなりました。昨年はシーズン前半の大雪により平成29年に次ぐ降雪量となりました。協和地域の昨シーズンについて、降雪日数は54日間、累計降雪量が678cmでした。1日の降雪量として最高が1月9日の41cm、次いで12月19日の40cmでした。最大降雪深は1月11日の95cmとなっております。

市道の除雪作業について、昨年12月16日に初出動し、市内一斉除雪日数は25日となっております。

協和地域においては30台の除雪車が稼働しております。地域内5か所に設置する降雪センサーが深夜10cmの降雪量を検知するとオペレータに出動メールが届くシステムとなっております。除雪時間は原則午前2時から7時30分までとなっておりますが、降雪量や雪質によっては時間まで完了しない場合もあります。そのため通勤通学に支障を来すことがあるかもしれませんが、急ぐことで事故発生リスクが高まりますので市民の皆様にはご理解いただきますようお願いいたします。

今シーズンの降雪量は平年並みとの予報です。近年はゲリラ豪雪など異常気象の頻発、生活形態の多様化などにより一層きめ細やかな除雪サービスが求められております。ニーズに応えられるよう努めて参りますのでご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。また除雪に関する相談、困りごとなどありましたら当局までご連絡いただきますようお願いいたします。

○農林建設課 佐川課長

農林建設課からお知らせいたします。

12月定例議会にて新型コロナウイルス対策として主食用米次期作支援事業が採択されました。対象となる農家の方々に本日申請案内通知を郵送いたしました。

今年も降雪の時期となりました。雪による農作物、ビニルハウスの倒壊などへの備えに万全を期するようお声掛けの方よろしく願いいたします。

○協和公民館 阿部館長

協和市民センター『和ピア』より5点ご報告いたします。

始めに『和ピア』利用について、今年は新型コロナウイルスワクチンの接種会場となり皆様にはご不便をおかけしました。11月いっぱい会場としての利用は終了しておりますが、3回目のワクチン接種について現段階では2月26日より実施予定のため会場として利用を制限させていただくこととなります。皆様にはご不便おかけしますがご理解のほどよろしく願いいたします。

2点目です。本日の協議案件にもありました地域拠点利活用活性化事業について、市教育委員会では今後人口減少に伴う分館の統合が検討されております。折しも分館に備わって『和ピア』にない機能が調理室でしたので委員の皆様から提案いただいたことは非常にありがたく思います。公民館としても各種事業への活用、展開に尽力したいと思っておりますのでご協議のほどよろしく願いします。

3点目、地域学校協働活動事業についてです。本年度は地域再発見と世代間交流を目的に『ふるさと探訪ツアー』を企画したくさんの方々から参加いただき好評を得ました。アンケートでは来年度も引き続きとの声が多数寄せられ計画しております。新たなツアーコースの提案や地域の先生として活動できる方などご紹介いただければと思います。

4点目は、県指定有形文化財（天然記念物）である庄内の『鬢垂のシダレグリ』と宇津野の『しだれ桜』についてです。国立森林総合研究所林木育種センター東北育種場にてさし木、接ぎ木増殖された苗木を森林遺伝資源として保存する林木ジーンバンク事業を活用し、来年度原木の近くと土地所有者の希望する場所に植樹することとなっております。今後の生育にご期待ください。

最後ですが、挙動不審な人物の入館、利用が見受けられます。子供達も利用する場ですので防犯には努めて参りますが、住民の皆様も散歩の休憩、健幸スポットの利用、打ち合わせ場所などで活用していただければ防犯効果もありますのでご利用ください。以上です。

○会長

事務局からはありますか。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

2点ほどお話をさせていただきます。

1点目は、本日の報告案件(1)地域拠点利活用活性化事業についてですが、令和4年度は基本構想並びに基本計画を策定することとしております。10月の市長プレゼンまでに作成し、『和ピア』を拠点としてどのような事業を実施するのか、賑わいのある施設とするためには何が必要か、そのために施設整備は何が必要かなど基本構想によりプレゼンすることになっております。

今後地域協議会での案件の一つとさせていただき、委員の皆様からもご意見等いただきながら進めていく予定ですのでご協力お願いします。

2点目は、次回の4回地域協議会ですが、3月の開催を予定しております。今年度最後の協議会となります。それ以前に開催が必要な案件が発生した場合は会長と協議のうえ調整し日程決まり次第ご連絡いたします。

○会長

長時間になりましたがご協力いただきありがとうございました。以上をもちまして、第3回協和地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後4時40分閉会)

協和地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 慎一

加藤 弘栄